

令2元年度
学校関係者評価報告書

学校法人 石井学園
岐阜調理専門学校

学校関係者評価会議

1 日時

コロナウイルス感染症対策のため、文書での依頼・回収とした。

2 場所

集約場所：学校法人石井学園 岐阜調理専門学校

3 評価委員

委員名	所属	役職	備考
梶川道夫	有限会社大阪屋	代表取締役	回収
大脇房夫	岐阜県調理師連合会	会長	回収
野呂看一	味彩やちぐさ	店長	回収
平井良樹	株式会社ひら井	社長	回収
上山広	日本中国料理協会 岐阜県支部	支部長	回収

4 開催内容

- (1) 学校の状況及び自己評価の送付
- (2) 委員からの意見回収
- (3) 意見のまとめ

5 評価会議に基づく学校評価

評価基準
適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目	評価となる観点	評価値
0 本年度定めた重点的に取り組む事項について	・社会人としての基本的な生活習慣の確立 ・技術検定の充実と指導の徹底 ・資格指導の充実 ・学生募集	4
1 教育理念・目標に関して	・学校の理念・目的・育成人材像が明確で、社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が抱かれているか。また、そのことが学生・保護者等に周知されているか。	4

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標、育成人材像等が業界のニーズに向けて方向づけられているか。 	
2 学校運営に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針が策定され、それに沿った事業計画がなされているか。 ・人事、給与規定が整備され、業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 ・教育活動に関する情報公開が適切にされており、情報化による業務の効率化が図られているか。 	4
3 教育活動に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った、教育課程の編成がなされ、業界のニーズを踏まえた教育レベルや学習時間の確保はされているか。 ・実践的な職業活動の視点に立った教育方法の工夫や、業界の関係団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直しがされているか。 ・教育目標を達成するための教員確保がなされ、能力開発のための研修等が行われているか。 	4
4 学修成果に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上、資格取得の向上、退学率の低減が図られているか。 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価をしているか。 	4
5 学生支援に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制、学生の経済的な支援体制等が配慮されているか。 ・学生の生活環境への支援が行われ、保護者との連携は適切に行われているか。 ・社会のニーズを踏まえた教育環境の整備がされているか。 ・高校・専修学校との連携によるキャリア教育の取組が行われているか。 	4
6 教育環境に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に関する施設・設備が十分であり、海外研修等についても十分な育体制がなされているか。 ・防災や衛生管理に対する体制や整備がなされているか。 	4
7 学生の受け入れ募集に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われ、学納金は妥当なものか。 	4

8 財務に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の財政基盤が安定しており、予算・収支計画は妥当であるか。 ・会計監査が適切になされ、財務情報公開の体制整備はできているか。 	4
9 法令等の遵守に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 ・個人情報 that 適正に保護されているか。 ・自己評価を実施し問題の解決をするとともに、自己評価結果を公開しているか。 	4
10 社会貢献・地域貢献に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用して社会貢献や地域貢献を行っているか。 ・学生のボランティア活動を奨励、支援し、地域に関する公開講座等を積極的に実施しているか。 	3

6 評価委員からの意見

○本年度定めた重点的に取り組む事項について

- ・コロナ渦にあって、何かと大変な運営状況の中、創意工夫もなされ、生徒にとって素晴らしい教育となっていると思われる。
- ・H A C C P の知識普及の早期化が望まれる。
- ・示されている重点事項に関しては、社会に出た時に最も大事なことである。学校はよく努力している。今後も強化してほしい。
- ・授業中の居眠りについては、厳しく指導すべきではないか。
- ・これからの社会の中で、学生みずからがどれだけ社会貢献に取り組むことができるか、ボランティア活動もカリキュラムに取り入れることが大切ではないか。

○教育理念・目標に関して

- ・学校の存在目的を正確に把握し、その目的達成のために明確な運営がなされていると思われる。
- ・多くの皆さんに周知されているのではないか。これからの社会人や料理人としてどうあるべきかを、家庭でもきちんと教えてもらいたい。
- ・家庭や保護者にどれだけ理解されているか、調査してみてもどうか。

○学校運営に関して

- ・コロナ渦の中、どれだけ学校、職員、学生とコミュニケーションをとれているか。
- ・コロナ渦にあって、今までの経験や知識が通用しない中、ほぼ的確な運営がなされて

いると思われる。本年度に得た知識や様々なデータを今後の学校運営に活かされることを期待します。

○教育活動に関して

- ・現場での体験は無理か。実際の調理場の空気を感じさせたい。
- ・人材育成における目標にどれだけ近づけるか、教職員のレベルアップを！
- ・時代の変遷の中で「人」の多様化のスピードが増す中で、学校運営の苦労は大変なことと推察する。その中で、自己評価は厳しくされているものの、的確で細かな配慮のもと、しっかりとした教育をされていたと思われる。

○学修成果に関して

- ・資格を取得したのだから、是非それを活かした道に進んでほしい。卒業生にも心配りをさせていただくと、もっと頑張ってくれると思います。
- ・資格指導の成果は向上していると思います。退学者を0にする目標で指導してほしい。
- ・コロナ渦にあって、就職率の向上は非常に難しいと思われるが、よい就職率を保っていると思われる。しかし、求人票の閲覧時期が遅れるのは望ましくなく、今後の課題である。
- ・人の多様化の時代にある中、方向性の違いによる退学はある意味仕方のないことのように思われる。

○学生支援に関して

- ・極力生徒に話を聞いてあげてください。夢を聞いて、それに対するアドバイスをしてあげてください。
- ・進路ガイダンスやカウンセリングの充実は、現代の教育環境においては重要なサービスであり、そのシステムができていることは素晴らしい。国からのさまざまな支援を取り入れていることは、この学校自体や、その運営の良さの証明であると思われるので、大変良い。

○教育環境に関して

- ・ほぼ適切
- ・海外研修も大切ですが、コロナ渦の中、国内研修に目を向けてはどうか。

○学生の受け入れ募集に関して

- ・常に適切に行われている。料理を作ることの楽しさを少しでも知ってもらいたい。
- ・コロナ渦の中、努力を評価したい。

○財務に関して

- ・大変良好。

○法令等の順守に関して

- ・適切である。

○社会貢献・地域貢献に関して

- ・若いうちから社会貢献は大事なことを教える必要がある。大事にしてほしい。
- ・学生ボランティアで社会・地域貢献をもっとしていただきたい。
- ・できる範囲の中で、少しずつ改善されていくとよい。それができる学校だと信ずる。

7 まとめ

○各項目とも、概ね「4：適切」という評価で、自己評価を上回っている。

○指摘事項としては、

- ①教員のスキルアップ
- ②H A C C Pの知識普及
- ③現場での体験を含めたボランティア活動、社会貢献の推進
- ④社会人としてのマナーを含めた基本的な生活習慣の確立の強化である

来年度以降は次のように対処したい。

- ①自分の専門（和食、洋食、中国、製菓）のみならず、他分野の技術研修を調理関係職員で研修しあう機会を月に2～3回設ける。
- ②H A C C Pの「食品衛生学」にて位置付けている。
- ③本校は岐阜駅構内に学校があり、必要最低限の施設設備で授業を展開しているので、交通安全等における社会貢献は行いにくい状況。一方、本校では大半の生徒がアルバイトをしているが、アルバイトをサービス系ではなく、飲食業界の厨房でのアルバイトを勧めており、これを通してマナー、社会性獲得の機会としたい。
- ④「目指す本校の学生像」を明確にし、それを達成するための教員としての行動を明確にし、実施する。

○高校生の体験実習は。コロナ対策を万全に期すため、健康チェックカードを持参させるなど、高校生にも不安を感じさせない対策を行う。

○生徒募集のための「学校ガイダンス」の充実

ガイダンスはコロナ感染症拡大のため、多くが中止、延期になったが、来年度以降は高校進路担当の先生と連携を益々深めることが重要と考えており、実践したい。

○本会議も含めて、年度末に開催予定であった保護者参加の謝恩会が中止となり、保護者に本校の教育理念の周知や生徒の姿を見ていただく機会がなく残念であった。オンラインを含めた情報発信に努めたい。